

「せまい服」について。



せまいつらの醜態胡味を
あなたにも！というこのコーナー。
「ドキドキするせまき」
私の中での大本命が
早くも登場です。

一人きりになれる
せまい空間の究極といえは
やはりこれ。



宇宙服でしょ。

「せまい服」について。

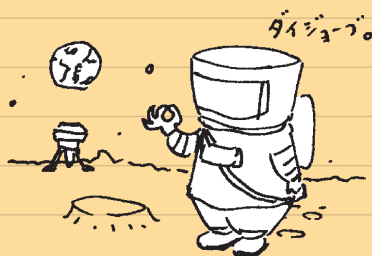


自分の周り

数センチから数ミリの
空間でびっけり
くまれているのだから
こんな「せまい」所は
ありません。

せまい所マニアとしても
上級者向きと
言えるでしょう。

そもそも宇宙服とは、
人間が生存できない環境でも
「活動ができる」ことを目的として
つくられています。

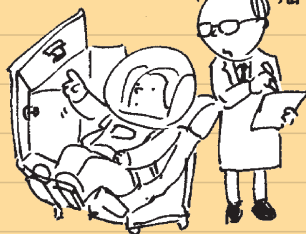


※ 二つの状況では役に立ちません。

生命を維持することが第一なので
どうしても「着ごこち」とか「動きやすさ」、
「解放感」などが犠牲になります。

特に最初の頃の宇宙服は
大変だったみたいで、

上のボタンが
届く？



とどきません。

つま先
さわれる？



さわ
れません。

暑い？



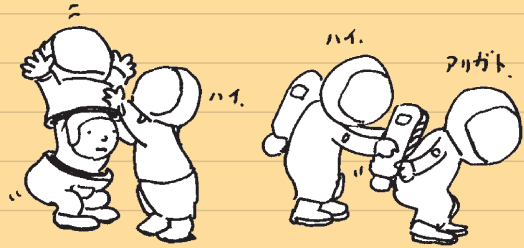
死に
ます。

テストする人はさぞかし
つらかったと思います。

ちよ、と、か、て、み、たい、です、けど、。

「せまい服」について

この宇宙服、いろんな種類がありますが基本的には一人では着られません。たいてい二人一組になって「着せ合う」のですが、「せまき」を共有していくその姿がなかなかほほえましくてかわいいのです。



世の中には この「せまい感じ」
「息ぐるい感じ」「守られている感じ」
が大好きで、宇宙服の
かわりにガスマスクやぐん
のスーツで全身をつんで
自分の姿を写真にとり、
雨の中を散歩したり抱き合ったり
して、休日を楽しむ人々が
ごく少数います。



長グツをはいた日に、自らすすんで
水たまりに入ったりする子どもが、
何らかの事情でそのまま大き
な、た感じでしょうか。



初めて「彼ら」を本で見た時は
大笑いしましたが、

「彼ら」の
専門誌が
ある。



自分もまだまだ修行が足りないな、
とも思ったものです。

「せまい服」について。